

事業拡大を支える 安全対策の強化

(株)内山製作所

レーザ加工を始め、精密板金、溶接、機械加工、製函、パイプ加工、などを手がける(株)内山製作所。群馬県館林市に本社を置き、1985（昭和60）年1月に操業。現在、従業員数277名（2015年12月現在）、売上42億円（2015年度）と板金加工業の中では大規模な会社に成長した（写真1、2）。

主な取引先は建設機械関連で、日立建機(株)や(株)加藤製作所、(株)コマツの建機向け部品の加工を行っている（写真3）。工場は本社工場をはじめ、館林第1工場、館林第2工場（以上、群馬県館林市）、佐野第1工場、佐野第2工場（以上、栃木県佐野市）、赤堀第1工場、赤堀第2工場（以上、群馬県邑楽郡邑楽町）を整備。リーマン・ショックから素早く立ち直ってからは売上を急拡大してきた。売上の急拡大に伴って新工場を次々と操業させ、従業員も積極的に採用。また、設備投資も積極的に行い、最新のレーザ加工機やパンチ・レーザ加工機などを毎年のように導入してきた（写真4）。

2011年（平成23年）7月1日に施行された改

正労働安全衛生法で、一定の要件を満たすプレスブレーキに対して、新たに「プレスブレーキ用レーザー安全装置」が「プレス等による危険の防止」措置の1つに認められたが、実はこの法改正の裏には、同社の働きかけがあったという。

厚生労働省に働きかけた法改正

しかしなぜ、同社は国を動かし、法改正を実現することができたのであろうか。そのきっかけは、同社の内山進社長がドイツで目にした機械にあった。内山社長は次のように話す。

「ドイツ製の機械を導入していた関係で、ドイツに板金機械を見に行った際、すべての機械に安全装置がついていることに気付いた。聞くとドイツでは法律で安全装置の装着が義務づけられているという。一方、日本で購入した同じ機械には安全装置はついていない」。

会社概要

会社名：(株)内山製作所
 所在地：〒374-0042 群馬県館林市近藤町 372-5
 TEL：0276-56-4414
 資本金：1,000万円
 売上高：42億円（2016年5月期）
 従業員数：277人
 事業内容：レーザ加工、板金加工、溶接、製函、アングル加工

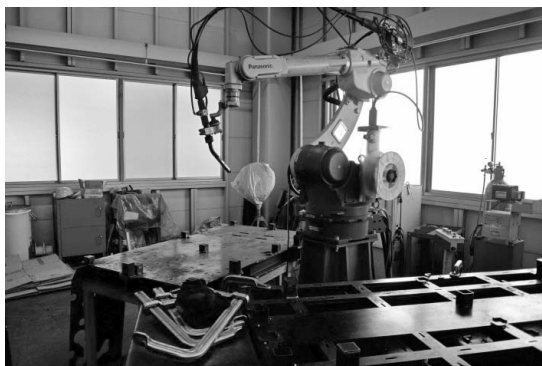


写真1 溶接ロボット